

高山・市民の森 森林教室実施報告書

「野草の天ぷらパーティー」

- 1 実施日時 平成29年5月14日(日) 10:00～14:00 天候 曇り
- 2 参加インストラクター 16名
担当 中川昌昭、朝比奈恵美子
参加会員 青野ダイチ、小嶋博、内野則夫、小久保忠嘉、越智寿美子、早川和男、大石正教、井上俊、萩野克己、内山修作、増田将、中山高志、望月靖郎、高橋健三

3 参加者 37人 (大人17人 子供20人)

4 実施内容

受付後、「森の恵み」施設前に集合し、市からのご挨拶をお願いした後、準備体操をし、4班に班分けし、各班毎に担当森林インストラクターから、参加者に注意事項と本日の行程を説明した。相変わらず山菜の誤食による食中毒が多発しているので指導員には事前にその点を重点的に説明するようお願いし、また、従来 of 山菜てんぷらは食べるのが中心となり山菜そのものと、人との係わり、薬効などの説明が十分でなかったという反省から、これらの点についても重点的に話すように依頼した。

その後、班ごとに観察を開始した。11時30分までに帰着という短い時間であったので、山頂まで行く班と、山頂へは行かず山菜とりが中心となった班と別れた、観察の過程ではクサギやクロモジの匂いを嗅いでもらったり、ハナイカダや、ムラサキサギゴケ、ヤブデマリの花をルーペを使用して観察した。また、食中毒やかぶれなどの危険な植物としてウルシ、テンナンショウ、ミヤマシキミなども知ってもらった。一部の班では、池でモリアオガエルの卵塊やイモリを観察し、さらにトンボの羽化などを見て大変盛り上がりました。山頂では曇り空の為、富士山は見られなかったが、市街地や伊豆半島が望めて、楽しむことができました。その他、タンポポの茎で草笛を吹いて楽しんだ班もあった。

採取できた山菜はタラノキ、クサギ、ハナイカダ、サンショウ、オカウコギなどの木の芽やハルジオン、タンポポの花、ユキノシタ、アザミ、ヨモギ、ヤブレガサ、ミツバ、ヤブマオウ、イタドリなどの葉っぱであった。

採取された山菜は各班の指導員により再度食べられるかどうかの確認をしてもらった後、持ち帰り用とし、あらかじめ当方で採取し、準備した山菜を用いて、指導員と参加者と協力し合い、それぞれ手際よく天ぷらに揚げ、昼食とともにいただいた。大人、子供も、いずれの山菜を美味しいと言ってほうばる姿が見られた。

毎回の反省であるが、参加申し込み者の、欠席者が多く、事前準備した食材が余るなどの無駄が生じ、班分け時に混乱するなどしています。今後、無断欠席者には、次回の参加は拒否するなどの、申し入れをすることが必要だと思います。



出発前の挨拶・説明風景



水芭蕉池でのトンボの羽化風景



山頂への登り道



採取品の安全確認



山菜天ぷら、揚げ作業中



おいしそうな天ぷらができた！